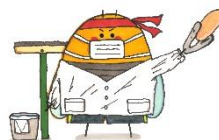


**離任式！**

2年前の新任式。皆さんはまだ入学していませんでしたが、私は昨日のことのように思い出します。あれから2年、時間が過ぎるのは驚くほど早く、北川中学校で皆さんと共に過ごした時間は、私の人生にとって何物にも代えがたい「一生の宝物」となりました。今、学校を去る私の胸にあるのは、「誇り」という二文字です。それは私自身の功績ではありません。北川の豊かな自然を愛し、地域の方々に学び、自ら考え、動き続けた「皆さんの姿」に対する誇りです。



振り返れば、挑戦の連続でした。1年目は「グローイング」を合言葉に、共に成長しようと呼びかけました。2年目の今年は「チャレンジ」を掲げ、「失敗を恐れず、一歩踏み出そう」と訴え続けてきました。皆さんは、見事にそれに応えてくれました。「ホテル再生プロジェクト」や「家田湿原の緑化プロジェクト」。泥にまみれ、地道に汗を流す皆さんの姿を、私はずっと見てきました。その努力が実を結び、「水と緑の景観賞」や「MRT 環境賞」、そして何より文部科学省より「キャリア教育優良賞」を受賞したことは、北川中の底力を世の中に証明してくれました。しかし、校長として何より嬉しかったのは、賞状の数ではありません。清掃活動で小学生の歩幅に合わせて優しくリードする姿。ドイツやミャンマーの研修生と言葉の壁を越えて笑顔で語り合う姿。地域・保護者と一体となって作り上げた体育大会にひたむきに取り組む姿。そんな皆さんの「心」です。大崩山の雄大さや北川の清流も素晴らしいですが、この北川の一番の財産は、「誰かのために、地域のために」と一生懸命になれる、皆さん自身なのです。



皆さんに二つのことを伝えたいと思います。

一つ目は、「自分を磨き続けること」です。実は、私の中に一つだけ心残りがあります。それは、もっと皆さんの「学びに向かう力」を伸ばしてあげられなかった、ということです。「2階から見える景色と、3階から見える景色は違う」と言います。階段を一段上がれば、より遠くまで、広い世界を見渡すことができます。自分を磨き、高い視点を持つことで、人生の選択肢は無限に広がります。私自身も4月から大学院へ行き、もう一度学び直します。皆さんに負けないよう、一人の「チャレンジャー」として走り続けます。



二つ目は、「ウェルビーイングを追求すること」です。簡単に言えば「自分だけでなく、周りの人も幸せであること」を大切にしてください。北川の夜を照らすホテルのように、一匹が光れば、それが伝播して周囲を明るく照らします。待っているのはダメです。幸せは自分でつかみに行くものです。皆さんが育てたホテルが初夏の夜空を舞う頃、私はもうここにはいません。けれど、ホテルを見るたびに、皆さんの「輝く瞳」をきっと思い出さずしてしょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様、多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。北川中学校のさらなる飛躍と、皆さんの光り輝く未来を応援しています。どんなときも笑顔を忘れずに、「笑う門には福キタル」です。2年間、本当にありがとうございました。



